

>>>>> ピックアップ・ファイブ >>>>>

本号の専門紙のニュース、国内ニュース、国外ニュースから、センター長が注目するニュース各 5 点をピックアップして、紹介します。

◆◆◆ 専門紙のニュースから ◆◆◆

・ 1 月

2012 年 4 ～ 6 月に行われた「第 11 回学生宗教意識調査」の報告書が公開された。有効回答者数は 4,094 人で、「東日本大震災と宗教」に関する質問項目が特設されている。

・ 2 月 9 日

財団法人・国際宗教研究所と宗教者災害支援連絡会の共催で「3・11 以後の日本社会と宗教の役割」をテーマとするシンポジウムが大正大学で開催された。東日本大震災の被災地で活動した 4 人の宗教者により被災者レベルから行政レベルまでの課題が提起された。

・ 2 月 9 日

2012 年度の国際宗教研究所賞の授賞式が大正大学で行われ、塩崎悠輝・同志社大学助教『近代国家とイスラーム 20 世紀マレーシアのファトワーに見られる国家とウラマーの対立』に国際宗教研究所賞、高橋沙奈美・日本学術振興会特別研究員の『ソヴィエト・ロシアの「聖」なる景観 後期社会主義ロシアの文化状況における正教的遺産の役割』に同奨励賞が授与された。

・ 2 月 27 日

庭野平和財団は第 30 回庭野平和賞をノルウェー国教会オスロ名誉監督のグナール・スタルセット氏に贈ることを発表した。同氏はルーテル世界連盟事務総長などを歴任し、WCRP 国際委員会執行委員などとして宗教間対話・協力活動に貢献。ノーベル平和賞選考委員のメンバーである。フィンランド移民の出身で、ノルウェー政府特使として東ティモールの和平調停も担った。

・ 3 月 1 日

式年遷宮の附帯事業として 2012 年 4 月に伊勢神宮の外宮に「せんぐう館」が開設されたが、目標を大きく上回り、10 ヶ月で来館者が 30 万人を突破した。

◆◆◆ 国内のニュースから ◆◆◆

・ 1 月 21 日

富山大学（富山市）周辺にイスラム教徒の礼拝施設であるモスクの建設を計画して

いた宗教法人「富山モスク」(富山県射水市)は、反対する住民の心情に配慮し、この日までに計画の中止を決定した。

・2月12日

幸福の科学を母体とした学校法人「幸福の科学学園」が大津市で開校を進めてきた中高一貫校の設置を、滋賀県が認可した。

・3月11日

東京都千代田区の国立劇場で「東日本大震災2周年追悼式」が開かれ、天皇、皇后両陛下と三権の長、遺族ら約1,200人が参列した。このほか、各地で合同追悼式等が開かれた。

・3月17日

お寺検定運営事務局主催(奈良新聞社共催)の第1回「お寺検定」が全国5会場で開催され、3級(初級レベル)と2級(中級レベル)の試験に約千人が挑戦した。

・3月17日

熊本市で県内で初となるモスク「熊本マスジド」の開所式が行われた。2012年3月に設立された「熊本ムスリム協会」が全国から寄付金約2,400万円を集め、アパートだった建物と土地を取得し、改修したもの。

◆◆◆国外のニュースから◆◆◆

・1月22日

教皇ベネディクト16世は、バチカンを訪問したベトナム共産党のグエン・フー・チョン書記長と非公式に会談した。教皇が同国書記長と会談するのは史上初。

・1月23日

グルジア正教会の最高指導者であるイリヤ2世総主教がロシアを訪問し、モスクワ近郊でプーチン露大統領と会談した。ロシア、グルジア両国は2008年夏の軍事衝突以来、断交していたが、ここに来て関係改善の動きが加速している。

・1月31日

中国の四川省アバ・チベット族の中級人民法院は、アバ県のキルティ・ゴンパ寺院の僧侶に2人に対し、死刑(執行猶予2年)と懲役10年の判決を下した。自殺の扇動を故意殺人とみなしたもの。

・2月3日

イスラム教徒が多く居住するインド北部ジャム・カシミール州で、初の女性ロックバンドを結成した10代の少女3人に対し、イスラム指導者のバシルディン師が活動休止を求めるファトワ(宗教令)を出した。2日後、バンドのメンバーは解散を宣言。

・3月19日

フランスの破棄院(最高裁に相当)は、パリの私立保育園で勤務中にベールを着用したことを理由に、イスラム教徒の女性保育士が解雇された事案(2008年)について、宗教差別との判断を示し、解雇を無効とする決定を下した。